



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社 丸順 上場取引所 名
 コード番号 3422 URL http://www.marujun.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今川 喜章
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 青山 秀美 (TEL) 0584-48-2832
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	15,156	△13.3	682	—	255	—	131	63.7
28年3月期第1四半期	17,490	15.6	△54	—	△236	—	80	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △333百万円(—%) 28年3月期第1四半期 △362百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	14.96	—
28年3月期第1四半期	9.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	49,913	5,623	4.1
28年3月期	53,241	5,956	4.2

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 2,060百万円 28年3月期 2,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,000	△17.6	250	△57.6	△200	—	△300	—	△34.22
通期	56,000	△16.9	1,600	△14.7	700	△18.5	400	—	45.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	9,771,000株	28年3月期	9,771,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,004,922株	28年3月期	1,004,922株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	8,766,078株	28年3月期1Q	8,766,078株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事項等について	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では民間住宅投資や個人消費等を中心に緩やかに回復しましたが、欧州では回復基調を維持しつつも、英国のEU離脱問題により先行き不透明な状況となっております。アジアでは日本及び中国の雇用所得環境が悪化し、個人消費が伸び悩んだこと等により緩やかな減速基調となっていることから、総じて力強さを欠く状況が続いております。

当社グループが属する自動車業界においては、米国では、乗用車からピックアップ及びSUVへの需要シフトが継続しているほか、住宅市場の改善、雇用増加及び所得増加等の自動車販売を後押しする環境が続いている一方で、タイでは排出量を基準とした新たな物品税の導入、金融機関の自動車ローン審査が引き締められていること及び購買力が低迷していることにより販売は軟調に推移しております。中国では、昨年から実施されている小型車の自動車取得税半減措置の導入効果により順調な販売を維持しましたが、日本では熊本地震等の影響により需要が低迷している状況です。

このような状況のもと、当社グループは厳しい収益状況からの早期脱却と、持続的な企業成長に向けた「丸順構造改革プラン」を継続して推進しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15,156百万円（前年同四半期比13.3%減）、営業利益は682百万円（前年同四半期は54百万円の営業損失）、経常利益は255百万円（前年同四半期は236百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は131百万円（前年同四半期比63.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、エンジニアリング事業において客先向け専用設備の販売等が好調に推移したものの、主要客先向け自動車部品の生産量の減少等により売上高はわずかながら減少となりました。また、「丸順構造改革プラン」の継続推進により製造原価は低減し、営業利益は増加したものの、為替差損等の営業外費用の増加により経常利益は前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は3,138百万円（前年同四半期比1.6%減）、経常利益は228百万円（前年同四半期比38.6%減）となりました。

(タイ)

タイにおいては、エンジニアリング事業において専用設備の販売が拡大したほか、購入費や経費等の削減に伴う製造原価の低減により売上高、利益共に前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は2,538百万円（前年同四半期比11.7%増）、経常損失は39百万円（前年同四半期は393百万円の経常損失）となりました。

(広州)

広州においては、主要客先の増産等の影響があったものの、エンジニアリング事業における専用設備の売上減少により売上高は減少しましたが、労務費等の固定費の削減により利益は前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は4,191百万円（前年同四半期比21.4%減）、経常利益は261百万円（前年同四半期は136百万円の経常損失）となりました。

(武漢)

武漢においては、中国自動車業界の好調な需要による主要客先の増産影響により売上高、利益共に前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,592百万円（前年同四半期比36.5%増）、経常利益は18百万円（前年同四半期は75百万円の経常損失）となりました。

(インディアナ)

インディアナにおいては、事業撤退に伴う事業活動縮小の影響により売上高、利益共に前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は3,617百万円(前年同四半期比35.7%減)、経常利益は54百万円(前年同四半期比88.2%減)となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、積極的な拡販活動の展開により、新車販売及び中古車販売ともに増加しており、売上高、利益共に前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は895百万円(前年同四半期比30.2%増)、経常利益は4百万円(前年同四半期は8百万円の経常損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、49,913百万円となり、前連結会計年度末と比較し、3,328百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が1,027百万円減少、仕掛品が444百万円減少、機械装置及び運搬具が658百万円減少、建設仮勘定が678百万円減少したことが要因であります。

負債総額は44,289百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,994百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,161百万円減少、短期借入金が594百万円減少、長期借入金が366百万円減少、リース債務が313百万円減少したことが要因であります。

純資産は5,623百万円となり、前連結会計年度末と比較し、333百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が131百万円増加、為替換算調整勘定が310百万円減少、非支配株主持分が140百万円減少したことが要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等について

当社グループは、平成27年3月期において、重要な営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、長期借入金の返済資金の確保が懸念されている状況が生じていました。さらに、前連結会計年度において、多額の特別損失を計上しており、個別財務諸表では債務超過となりました。当第1四半期連結会計期間の末日においても個別財務諸表における債務超過が継続しているなど財務基盤が安定しておらず、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

これらの状況に対処すべく、前連結会計年度において策定した「丸順構造改革プラン」に従い、当第1四半期連結累計期間においても継続して経営資源の集中による事業ポートフォリオの変革、資産売却、要員削減及び工場集約によるボトム体質の構築を推進し、不採算事業からの撤退、固定費の削減を実施しております。この結果、前連結会計年度に引き続き、当第1四半期連結累計期間においても営業利益及び経常利益は共に黒字を継続しており、親会社株主に帰属する当期純利益も黒字となっております。

また、将来の成長に向けて精密部品事業、エンジニアリング事業の拡販及び研究開発活動の拡充を進めると同時に、「丸順構造改革プラン」の取組みによる収益の改善によって個別財務諸表における債務超過を解消するという方向性について、取引先及び取引先金融機関からの理解を得ております。

資金面においては、事業の継続及び「丸順構造改革プラン」の実施に必要な資金を確保するために取引先金融機関に対して継続的な支援を要請し、長期及び短期借入金の返済資金について、当座貸越枠の増額や返済期日を延長することで同意をいただいております。

これらの諸施策の実施により、収益基盤の安定化を図り、取引先金融機関の継続的支援のもと、資金不足となるリスクは回避し、財務基盤の安定化をはかることもできており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第1四半期連結累計期間
(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,922	4,895
受取手形及び売掛金	8,510	9,094
商品及び製品	622	553
仕掛品	1,961	1,516
原材料及び貯蔵品	1,065	929
その他	2,070	2,052
貸倒引当金	△91	△75
流動資産合計	20,061	18,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,852	7,823
機械装置及び運搬具（純額）	8,014	7,355
工具、器具及び備品（純額）	7,634	7,210
土地	1,637	1,611
リース資産（純額）	2,446	2,161
建設仮勘定	4,297	3,618
有形固定資産合計	31,883	29,781
無形固定資産	208	192
投資その他の資産		
その他	1,105	990
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	1,088	973
固定資産合計	33,180	30,946
資産合計	53,241	49,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,133	5,972
短期借入金	21,888	21,294
リース債務	984	902
未払法人税等	131	50
賞与引当金	52	125
その他	5,310	4,796
流動負債合計	35,501	33,142
固定負債		
長期借入金	8,244	7,878
リース債務	1,365	1,134
退職給付に係る負債	914	919
資産除去債務	89	158
その他	1,167	1,056
固定負債合計	11,783	11,147
負債合計	47,284	44,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	△1,359	△1,228
自己株式	△626	△626
株主資本合計	△12	118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	33
為替換算調整勘定	2,408	2,098
退職給付に係る調整累計額	△197	△189
その他の包括利益累計額合計	2,265	1,941
非支配株主持分	3,703	3,562
純資産合計	5,956	5,623
負債純資産合計	53,241	49,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	17,490	15,156
売上原価	16,337	13,323
売上総利益	1,152	1,833
販売費及び一般管理費	1,207	1,150
営業利益又は営業損失(△)	△54	682
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	6	1
為替差益	9	—
その他	22	6
営業外収益合計	41	10
営業外費用		
支払利息	219	196
為替差損	—	214
その他	3	27
営業外費用合計	223	438
経常利益又は経常損失(△)	△236	255
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	758	—
その他	22	—
特別利益合計	781	2
特別損失		
事業構造改善費用	357	—
固定資産売却損	0	—
減損損失	—	2
投資有価証券評価損	—	2
特別損失合計	357	5
税金等調整前四半期純利益	187	252
法人税等	112	64
四半期純利益	74	187
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	80	131

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	74	187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△472	△21
為替換算調整勘定	23	△507
退職給付に係る調整額	10	7
その他の包括利益合計	△437	△521
四半期包括利益	△362	△333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△360	△192
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△140

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディアナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	2,749	2,250	5,054	1,127	5,623	684	17,490
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	441	23	276	39	-	2	783
計	3,190	2,274	5,330	1,166	5,623	687	18,273
セグメント利益又は損失(△)	372	△393	△136	△75	463	△8	222

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	222
セグメント間取引消去	△95
子会社配当金	△363
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△236

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディアナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	2,826	2,467	3,820	1,530	3,617	893	15,156
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	311	71	370	61	-	1	816
計	3,138	2,538	4,191	1,592	3,617	895	15,973
セグメント利益又は損失(△)	228	△39	261	18	54	4	528

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	528
セグメント間取引消去	32
子会社配当金	△326
その他の調整額	20
四半期連結損益計算書の経常利益	255

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。